

令和 4 年度

坂井市小中学校 福祉共育活動報告書

～子どもも大人も、

地域で共に育む

“福祉共育” ～



社会福祉法人 坂井市社会福祉協議会

令和4年度 坂井市小中学校 福祉共育活動報告書目次

三国町

三国南小学校		P1
三国北小学校		P2
雄島小学校		P3
加戸小学校		P4
三国西小学校		P5
三国中学校		P6

丸岡町

平章小学校		P7~8
長畝小学校		P9
高椋小学校		P10~11
鳴鹿小学校		P12
磯部小学校		P13~14
明章小学校		P15
丸岡中学校		P16
丸岡南中学校		P17

春江町

春江小学校		P18~19
春江西小学校		P20
大石小学校		P21
春江東小学校		P22
春江中学校		P23

坂井町

東十郷小学校		P24
大関小学校		P25
兵庫小学校		P26
木部小学校		P27
坂井中学校		P28

三国南小学校の福祉活動を紹介します！

【活動アピールポイント】

「人との関わり合いを通して、思いやりやボランティアの心を」

1・2年生・・・南っ子まつり（子ども園 幼保園5才児との交流）

1年生・・・新1年生へのプレゼント作り

4年生・・・盲導犬に関するお話を聞く

アイマスク体験

シニア体験

障害者スポーツ体験（マラソン伴走・卓球バレー）

生活委員会・6年生・・・ユニセフと赤い羽根の募金活動

インクカートリッジ（ベルマーク）の回収



令和4年度の取り組み

シニア体験について

福祉教育サポーター・社会福祉協議員の方を講師に教えていただき、シニア体験を行いました。特殊のゴーグルや耳当て、手首用おもり、ビニール手袋をつけて、階段の上り下りや文字の読み書きをしました。

加齢による身体の変化を知るだけでなく、高齢者の行動を体験することで祖父母をこれからは大切にしたいという思いやる心や住環境を考えるととても良いきっかけになりました。



障害者スポーツ体験

卓球バレー協会やしあわせ福井スポーツ協会の方に協力していただき、障害者スポーツを体験しました。マラソン伴走は、実際にやってみて、安全第一に先を考えてサポートする難しさを感じました。伴走の人との毎日10キロ練習が楽しい、大会のために練習を欠かせないという話は、子ども達も感動しました。また、誰もが楽しめるルールの中で競い合える卓球バレーを楽しむだけでなく、その奥深さを感じることができました。



三国北小学校の福祉活動を紹介します！

【活動アピールポイント】

☆「バリアフリーとは何か？」から出発した本校4年生の福祉学習。三国駅周辺や三国コミュニティーセンターでバリアフリーになっているものを探す「バリアフリー探し」をしてからアイマスク体験や点字体験をしたり、全盲の方の講演会を聞いたりしました。視覚障害者の立場になって考えるきっかけにしました。

令和4年度の実践

バリアフリー探し

三国駅や三国コミュニティーセンターで、バリアフリーになっているものを探しました。多目的トイレや、自動販売機のボタンについている点字などバリアフリーになっているものを見つけ写真を撮りました。身近な所に「バリアフリー」があることに驚いていました。



アイマスク体験

2人1組になり、アイマスクをつけて誘導される体験をした児童は、前が見えなくてこわかったが、誘導した児童が「まっすぐ行くよ」「右に曲がるよ」など声をかけてくれたから安心して歩けた、と感想をもった。



福祉講演会

福祉講演会では、視覚障害者の方の一日の生活や卓球で国体に出られた話にとっても興味を持っていた。盲導犬との生活や食事の量などにも関心を持ち、学習発表会でもそのことをクイズ形式で伝えていた。



点字体験

点字体験では、字を書くときと点字を打つときでは、ルールが少し違うことを学んだ。点字を打つことは少し難しさがあったが、実際に打ったものを読むことも難しい、と感想を持っていた。



雄島小学校の福祉活動を紹介します！

【活動アピールポイント】

3年生は、バリアフリーについて学習しました。身のまわりには、目や耳などが不自由な方だけでなく、妊婦さんやお年寄り、外国の人など多くの方々が生活しており、それぞれの方々が生きていく上で不便さを感じていることを知りました。そして、みんなが過ごしやすい社会について考えることができました。

4年生では、「パラスポーツ」「視覚障がい者の話」「盲導犬」「点字」について学習しました。障がいのある方の話を聞いたり、体験活動をしたりすることで、障がいについて知り、そして自分たちにできることは何かを考えました。

令和4年度の実践（3・4年）

〈バリアフリーについて調べよう〉



車いすを使っの体験では、自分で操作することと、人を乗せてから介助することの両方を体験しました。そして、実際に車いすで生活されている方のお話を聞きました。

〈源さんと盲導犬〉



源さんの講演では、視覚障がいや盲導犬についてお話をいただきました。視覚障がい者の生活について知り、大変な苦労があるなかでも、楽しく前向きに暮らす源さんの姿に感銘を受けていました。そして、「心の算数」の合い言葉を教わりました。

〈ポッチャを楽しもう〉



講師の先生に来ていただき、ポッチャを体験しました。ランプを使って転がす体験をし、障がいの有無に関係なく、老若男女が楽しめるスポーツだと実感していました。「もっとポッチャをしたい」「次のパラリンピックではポッチャの試合を応援したい」などの思いをいただけていました。

〈点字に挑戦！〉



三国点訳グループの方を講師にお招きし、点字について学びました。点字の書き方のきまりを教わり、実際に点字器で点字を書きました。細かな作業で難しさを感じながらも、点字を書く達成感を味わっていました。点字への興味が広がりました。

加戸小学校の福祉活動を紹介します！

【活動アピールポイント】

4年生は総合的な学習の時間に「やさしさ見つけ隊、やさしさ伝え隊」をテーマに「福祉」の学習に取り組みました。視覚障がい者の方のお話を聞いたり、身体障がい者の方のお話を聞いたり、車イス体験や障がい者スポーツ体験を通して、子どもたち自身が福祉とは何かについて考えることができました。そして、自分たちにできることは何かを考え、思いやりをもって行動することの大切さに気づくことができました。

令和4年度の実践

源さんのお話

源さんの講演では、視覚障がい者の生活についてや、盲導犬に関することを教えていただきました。また、点字の本や、点字付きのルービックキューブ等にも触れて、違いを実感することができました。「心の算数（助ける、手をひく、いたわる、声をかける）」を大切にしてください、という源さんのお話を、児童は自分たちにできることを真剣に考えながら聞いていました。



バリアフリー教室

バリアフリー教室では、身体障がい者の方のお話を聞いた後、バスの乗降体験、視覚障がい者の体験、車イス体験を行いました。バスの乗降体験では、車いすに乗ったまま、路線バスに乗る時の方法を知り、周りの人の手助けの大切さを実感しました。車いす体験では、1cmの段差でも車いすでは大変だということを体感しました。視覚障がい者の体験では、介助の仕方や声のかけ方を教わり、実際に取り組んでいました。



障がい者スポーツ体験（車いすバスケットボール、ボッチャ）

車いすバスケットボール体験では、医療用とスポーツ用の車いすの違いを教わり、講師の先生に教えていただきながら、パス練習やシュート練習、ゲームを行いました。

ボッチャ体験では、ゲームのルールを知り、作戦をたてながら相手チームよりも得点を取る方法を考えていました。

障がいがあっても、ルールや道具を工夫してスポーツを楽しむことを知ることができました。



三国西小学校の福祉活動を紹介します！

【活動アピールポイント】

「障がいについて理解を深め、思いやりの心を育む」ことを目標に、①アイマスク体験、②手話教室、③障がい者スポーツ出前講座の受講を行いました。

また、それ以外にも、タブレットを活用して様々な障害やパラスポーツについて調べ学習を行い、障がいについての理解を深める学習を行いました。調べ学習と体験学習の両方を行うことで、理解を深めるだけでなく、思いやりの心を深める良い機会となりました。

令和4年度の実践

アイマスク体験

アイマスク体験では、教室で、どんな言葉がけやサポートをしたらよいかをみんなで考えた後、廊下や階段を歩きました。「目が見えないって大変なんだ」と障がいの苦労を感じる児童もいれば、「どんな声かけをすると、相手が安心できるか考えながらできました」と、思いやりをもってサポートする大切さを感じていた児童もいました。



手話教室

デフバスケットボールの選手である講師の方に来ていただき、日常生活の様子やコミュニケーションの方法、便利な生活用具などを教えていただきました。その後、挨拶や自分の名前などの手話を教えていただきました。手話で挨拶を交わす楽しさを感じることができました。



障がい者スポーツ出前講座

しあわせ福井スポーツ協会、楽障クラブ、福井県ボッチャ協会の方々に協力していただき、陸上競技（伴走）と、ボッチャを体験しました。陸上競技（伴走）では、視覚障がいを持ちながらも、快走する選手のすごさに感動していました。また、ボッチャでは、障がいの有無、年齢、性別をこえて、楽しめるスポーツの良さを感じながら、活動することができました。



三国中学校の福祉活動を紹介します！

【活動アピールポイント】

三国中学校では、今年度地域とのつながりを大切にして活動してきました！

地域のボランティア活動や、職場体験での活動を通して、自分たちが住む町でどんな活動がされているのか、自分たちにできることは何があるのかについて興味を持ってもらうことができました。

令和 4 年度 of 取組み

○地域のボランティア活動に参加しました！

★シバザクラ植栽ボランティア（汐見公園）

町作り協議会の方々と協力して、三国中学校の生徒がシバザクラの植栽を行いました。自分たちが植えたシバザクラが 5 月頃に堤防一面に咲く景色を見て、「三国の町をきれいにすることに貢献できた！」と感じてもらえるとうれしいです。

★エッセル坂クリーン大作戦

エッセル坂の落ち葉を町作り協議会の方々と協力して清掃しました。普段子どもたちも利用する場所をきれいにすることができました。



○職場体験で地域の職場に行きました！

★三国町内の職場に参加

自分たちの住む三国にどんな仕事をしている人々がいるのかを調べ、講演会の中で質問をして、実際に職場体験を行いました。

★社会福祉協議会での活動も

社会福祉協議会に職業体験に行った生徒もいました。文化祭での模擬店発表の中で、福祉に関連した発表・制作物を作っていました。



平章小学校の福祉活動を紹介します！

【活動アピールポイント】

今年度は、福祉への理解を深めるために、障がい者スポーツ体験、座学（パラスポーツについて）、インスタントシニア体験、点字体験、手話体験講座、アイマスク体験、車いす体験と多岐にわたり、体験活動に力を入れて行いました。様々な活動を通して、子どもたちは、いろいろな立場の人がいることを知り、自分たちができることをして、だれとでも関わろうとする意識を持つことができました。福祉学習の後半では、テーマ別に分かれて、それぞれの分野について、さらに詳しく調べ学習を行い、発表会を行いました。どのグループもみんなが暮らしやすいまちを作っていくために自分たちができることを考えて発表しました。

福祉学習で学んだことを生かし、みんなが幸せに生きていける社会を目指して、「困っている人がいたら、自分から声をかける・優しく接する」ことを意識して、これからの生活を頑張りたいと思っています。

令和4年度の取組み

9月 障がい者スポーツ出前講座（ボッチャ体験、座学「パラスポーツについて」）

しあわせ福井スポーツ協会、福井県ボッチャ協会、三上信雄氏（福井特別支援学校）を講師にお招きし、ボッチャ体験をしたり、パラスポーツについての講話をお聞きしたりしました。パラスポーツを実際に体験することで、誰もが楽しめるスポーツであることを実感しました。また、障がい者スポーツに興味・関心をもつことができました。



9月 高齢者体験（インスタントシニア体験）

体が少し不自由なお年寄りの体験をしました。介助者に付き添われて、階段の上り下り、文字の読み書き、手洗いなどを行いました。生活上の困難さを体験し、「これからはお年寄りにやさしくしてあげたい。」「自分にできることをしたい。」という思いやりのある意見がたくさん出てきました。



9月 点字・手話体験講座

点字体験では、視覚障がいのある方にとって点字が大切であることを知り、点字を打つことや読むことの大変さを実感することができました。また、手話体験では、実際に聴覚障がいのある方と触れ合う中で、聴覚障がいがある方の生活の困難さを知ることができました。障害のある方を敬遠することなく、積極的に触れ合う姿が見られました。



10月 アイマスク・車いす体験

アイマスク体験では、体験後に児童同士で感想を交流し、視覚障がいのある方への理解を深めることができました。そして、学校やまちには、移動に障害となる場が多くあり、不安感や恐怖心を抱くということを身をもって知ることができました。

車いす体験では、介助する方、される方の両方の立場を体験することで、車いす利用者の思いを体感することができました。車いすを介助する際は、利用者を安心させてあげるような声かけや介助が大切であることに気づくことができました。



1月 発表会（福祉について～みんながくらしやすいまちを目指して～）

体験活動からさらに詳しく調べてみたいことや興味のある内容について、調べ学習を行いました。グループごとに調べた内容をもとに、ポスターや掲示物、発表ノートを作成し、発表会を行いました。発表では、どのグループでも、だれもが暮らしやすくなるために、自分たちに何ができるかを考えて伝えることができました。



長畝小学校の福祉活動を紹介します！

【活動アピールポイント】

4年生が、総合的な学習の時間に、車いす・インスタントシニア体験や視覚障がい者・聴覚障がい者の方の講話を通して、立場の違う人への理解を深め、自分ができることは何かを考えることができました。

【主な活動内容】	○車いす・インスタントシニア体験	10月20日（木）
	○視覚障がい者の方の話	1月20日（金）
	○聴覚障がい者の方の話・手話講座	2月 3日（金）

令和4年度の実践

車いす・インスタントシニア体験

ペアになって、車いすに乗る人と介助をする人の体験やインスタントシニアの装具を付けて、階段の昇降・掲示物を読む体験をしました。早めに声をかけ、ゆっくりと介助することの大切さを学びました。



視覚障がいの方のお話

日常生活では、聞こえる音や触った感触など視覚以外の感覚を大切にし、工夫して生活されていることを知りました。また、盲導犬についても詳しく教えていただきました。



聴覚障がいの方のお話・手話講座

普段の暮らしの中で、困ることや手話や口話、筆談などで会話していることなどをお聞きした後、手話を教えていただきました。簡単な挨拶や自分の名前を手話で伝えられるようになりました。



高椋小学校の福祉活動を紹介します！

【活動アピールポイント】

今年度も、本校の教育方針である「本物に触れる体験」を通した学びを大切にしながら学習を進めていきました。

児童は様々な体験を通し、体の不自由な方について理解を深め、介助する際のサポート方法や声かけの仕方について考えることができました。福祉について興味をもち、困っている人を見かけたときは声をかけようと、思いやる気持ちが育ちました。また、この学びを普段の生活の中で生かそうとする態度も見られました。

令和 4 年度の取組み

〈車いす体験〉(9月 27 日)

二人一組のペアになり、①マットの上り下り(段差)②ボール拾い③カーブ体験④手洗い⑤スロープの上り下り⑥自走の6つを行いました。今まで簡単にできていた物を拾ったり、手を洗ったりすることが難しく、体験を通して車いす利用者の気持ちを考えることができました。また、車いすに座った状態では手が洗えず困っている友達に気付き、進んで蛇口をひねってあげたり、水をかけてあげたりしている姿も見られました。介助をする体験を通して、声掛けをすることの大切さや、相手の気持ちを考えて行動することの大切さにも気付くことができました。



〈手話体験〉(10月5日)

聴覚障がいには四つの種類があることや、家の中や街の中で困ることについて教えていただきました。講師の方の経験を基に話してくださり、耳が聞こえないことの大変さを実感していました。

次に、手話体験をしました。「おはよう」「ありがとう」などの簡単な日常のあいさつ、自分の名字や学校名などを講師の方々に教えていただきました。

特に名字の手話に興味津々で、友達の名まで覚えていました。覚えた手話を使ってペアでお互いの名前を尋ね合い、手話でコミュニケーションができたことに喜びを感じていました。

手話体験を通して、表情やジェスチャーなどでもコミュニケーションが取れること、目と目を合わせて自分の気持ちを伝えようとする気持ちが大切であることを学ぶことができました。



〈インスタントシニア体験〉(10月17日)

手足につけたサポーターやおもりで、歩いたり階段を上り下りしたりするのも大変でした。また、ゴーグルをつけることで、視野がせまかったり、色によって文字が読みにくかったりすることが分かりました。ヘッドホンで相手の声も聞き取りづらく、ヘッドホンを外した時には、「普段こんなによく聞こえているんだ!」と驚く声も聞こえてきました。

かがむのが大変そうにしている友達には、目の前まで紙を持ってきて見やすくしたり、そっと背中に手を添えて歩いたり、相手の気持ちを思いやり、自分で考えて行動する姿が多く見られました。体験を通してお年寄りの大変さを実感し、これまで以上に親切に接していきたいという思いをもつことができました。



〈アイマスク体験〉(11月1日)

目の不自由な人の生活を体験し、不自由さや介助の必要性を学習するために、アイマスク体験をしました。教室では、教科書や筆箱を出して授業の準備をする、椅子に座る、ランドセルの準備をする、着替えるなど教室の中で毎日していることに取り組みました。また、廊下を歩いたり、階段の上り下りをしたり、手洗い場で手を洗ったりしました。

体験を通して、目が見えないことの怖さを感じたり、目が不自由な人たちがどんなことに困るのかを考えることができました。また、目の不自由な人を不安にさせないようにするために、どのようなサポートをすると良いのか、どのような声掛けをすると良いのかを考えながら、介助することができました。



〈視覚障がい者・盲導犬についての講話〉(11月8日)

盲導犬と一緒に暮らしている視覚障がい者とガイドヘルパーさんに来ていただき、盲導犬と視覚障がい者の生活についての話を聞きました。日常生活の様子や目が不自由で困ること、怖い思いをしたことなどを教えていただきました。

音声でメールの内容を教えてくれる機能や紙にサインを書くときに使う道具など便利な機能や道具がたくさんあることも知ることができました。

盲導犬の話では、盲導犬の仕事内容や盲導犬になるための条件などを教えていただきました。子供たちは、盲導犬の賢さに驚いていました。



鳴鹿小学校の福祉活動を紹介します！

【活動アピールポイント】

「障がいのある人とともに」のテーマのもと4年生が総合的な学習の時間を中心に取り組みました。導入として子供たちが大好きなスポーツを体験しました。その後「福祉」「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」などについて調べ、校内にもたくさんのバリアフリーやユニバーサルデザインがあることに気づくことができました。また校舎内でアイマスク体験をした後には、各自が視覚障害者への理解を深めようと、テーマをもって調べ発表する中で、子供たちは、自分たちにできることはないかという意識が高まりました。児童は一人の力は小さくても、それが広がればみんな幸せになれると実感がもてました。

令和4年度の取組み

障がい者スポーツ出前講座

◎福祉教育の導入として、しあわせ福井スポーツ協会主管による県卓球バレー協会及び県ボッチャ協会の講師の方々をお迎えして、「卓球バレー」と「ボッチャ」を体験しました。とても楽しく取り組み、ルールも工夫されていることを理解することができました。子どもたちは、障害スポーツを通して、障がいのある人と触れあい、相互理解を促進することができました。



アイマスク体験



◎校舎内を2人一組で歩きました。一人がアイマスクをし、もう一人が階段や廊下を安全に歩けるよう声をかけながら誘導しました。視覚障害者の方の大変さを実感し、相手の立場になって考え、自分たちにできることがあれば助けたり手伝ったりしたいという気持ちを育てることができました。

磯部小学校の福祉活動を紹介します！

【活動アピールポイント】

本校では、4年生の総合的な学習を中心に「誰もが幸せに過ごすことのできる社会ってどんなもの？」をテーマに、障がいのあるなしに関わらず、様々な人たちが共生できる社会について考えてきました。まずは障がいのある人や、生活する上で困難さを抱える人たちについて知るために、体験活動や調べ学習を行いました。

学習を進めていく中で、自分たちとは違った困難さを抱えている人たちの存在に気づき、どんな人にも思いやりの心をもって接することの大切さを学びました。

令和4年度の取組み

1. 福祉体験の実施

まずは、身の回りにどのような生活の困難さを抱えている人がいるのかを知るために、自分たちが実際に体験を行いました。

○インスタントシニア体験・アイマスク体験（6/24）・・・坂井市社会福祉協議会の方に来ていただき、高齢になるとどのような身体の変化があるのか、体験を行いました。また、アイマスク体験を行い、目が不自由な方の生活を疑似体験しました。どちらの活動もあちこちで「怖い」「動きづらい」などの声が聞こえてきて、目が見えない人や高齢者に優しくしたいという思いやりの気持ちをもつきっかけになりました。



○障がい者スポーツ体験（6/29）・・・福井しあわせスポーツ協会と連携して、「ボッチャ」「卓球バレー」の体験を行いました。児童達は障がいのあるなしに関わらず、どんな人でも楽しめるように工夫されたスポーツを楽しんでいました。



○車いす・点字体験（7/6）・・・坂井市社会福祉協議会の方に来ていただき、二人一組で車いす体験を行いました。同日は楽天の会の方にも来ていただき、点字を実際に打ったり、読んだりしました。



○妊婦さん講演（9/12）・・・妊婦さんと、その生活を支える旦那さんに来ていただき、妊婦さんの生活について伺いました。「靴下をはくのも辛いなんて知りませんでした」「お母さんは、私を産むときにこんなに大変な思いをしていたんだと分かりました」など、自分の生活と結びつけて考える児童もいました。



○手話教室（9/15）・・・福井県聴覚障がい者協会と連携し、手話講師、手話通訳士の方に来ていただきました。最初は耳が不自由な人の生活について聞き、その後は実際に簡単な手話を教えてもらいました。授業が終わった後も手話でコミュニケーションを取っている児童もあり、手話への関心を高めていました。



○盲導犬と暮らす方とのふれあい（10/7）・・・盲導犬と生活している方に来ていただき、目が不自由な方の生活について、盲導犬との生活について話をお聞きしました。実際に盲導犬とふれあうという貴重な体験もさせてもらい、盲導犬について理解を深めるひとときとなりました。



2. 障がいについて、学んだことの発表会

体験活動を通し、障がいについてまとめたものをクラスごとに中間発表を行いました。児童達は「視覚障がい者」「聴覚障がい者」「身体不自由者」「妊婦さん」「高齢者」のいずれかを選び、本やタブレットで調べて分かったことや、体験学習を通して学んだことをタブレットにまとめ発表しました。発表後は、「自分のあまり知らない障がいのことも知れて良かった」「家のおじいちゃんやおばあちゃんに優しくしてあげたい」などの感想や、「もっと視覚障がいについて知りたい」など、さらに福祉について調べたいという意欲を見せる児童もいました。



3. 磯部地区が、どんな人にとっても暮らしやすいまちになるためのバリアフリー提案

現在、福祉学習のまとめとして、身近なところにあるバリアフリーについて調べています。地域にあるバリアフリーを見つけ、さらに磯部地区を誰にとっても暮らしやすいまちにするためにはどのようなバリアをなくしていくと良いか、子どもたちで話し合い、磯部地区のバリアフリーの提案を3/20に行います。

明章小学校の福祉活動を紹介します！

【活動アピールポイント】

総合的な学習の時間で、様々な方向から、福祉について考えてみました。社会にはいろいろな人たちが生活し、それを支えるために福祉があることを知り、自分たちにできることを考えたり、思いやりの心をもったりできるような機会を設けました。

令和4年度の実践

【点訳体験】

点訳楽点の会の方をお招きし、実生活の中でどのような場所に点字があるのかを学び、実際に点字を読んだり打ったりしました。最後に、自分の名前を打ち、名前シールを作成しました。

【インスタントシニア体験】

インスタントシニアセットを装着し、歩いたり、文字を書いたりしました。インスタントシニアセットをつけることで普段の生活とは違った体験をすることができました。

【障害者スポーツ体験】

コム・サポートプロジェクトの小林さんをお招きし、フライングディスク体験を行いました。車いすに乗り、ディスク投げに挑戦しました。

【ボッチャ体験】

ボッチャ体験を行いました。チームを組みトーナメント形式で対戦しました。誰でも簡単にできるようにつくられているため、初めてでしたがいいプレーがたくさんみられ大盛り上がりでした。

【活動を振り返って】

福祉体験を通して普段の生活では得ることのできない貴重な体験をすることができました。この体験学習を生かし、これからの生活の中で困っている人がいたら、手助けができるようにしていきたいです。また、この体験をきっかけに自ら福祉について考える機会となりました。



丸岡中学校の福祉活動を紹介します！

【活動アピールポイント】

今年度は、生徒たちが学校や地域でできることはないかを考え、ボランティア活動に取り組めました。活動について、文化福祉委員が学級での呼びかけや校内放送で活動報告を行っています。活動を通して、生徒の中で自己有用感が芽生え、ボランティアの輪が徐々に広がっています。

令和 4 年度の取組み

委員会ボランティア

毎年、文化福祉委員会が企画し校内ボランティアを行っています。今年度は、エコキャップの回収、木材でエコストローを制作し、市内の社会福祉施設へ寄付しました。



部活動ボランティア

毎年、夏休みに各部活動単位でボランティア活動を行っています。今年度は、普段使用している市の体育館の清掃の他に、柔道部と美術部が地域の方と協力して海岸清掃、剣道部が交通安全指導を行いました。



募金活動

今年度は、文化福祉委員を中心に令和4年度8月大雨福井県災害義援金、赤い羽根共同募金を行いました。生徒たちは、募金活動前に募金がどのように使用されるのかを調べ、呼びかけを行いました。自分の生活を振り返り、身近な地域にも困難を抱える人がおり、自分たちにできることは何かを考えるきっかけとなりました。



丸岡南中学校の福祉活動を紹介します！

【活動アピールポイント】

本校では委員会（以下、共々委員会）を中心に、生徒発信の活動を行っています。「何のためにその活動をするのか」を生徒と確認し、募金活動や地域の祭りへの参加などを主体的に行いました。また、第1学年の総合的な学習の時間に、福祉体験活動やまとめ活動に取り組みました。この活動を通して、困っている人を見かけたときは自ら行動を起こしていくという意識が高まりました。

令和4年度の取り組み

委員会での活動

共々委員会を中心に、「共々に」の精神で様々なボランティア活動を企画し、全校生徒で取り組みました。昼休みを利用した窓ふきボランティアや外掃除ボランティアには、学校を綺麗にするためにたくさんの生徒が積極的に参加しました。また、赤い羽共同募金では、共々委員会の生徒が毎日呼びかけ、募金への協力を促していました。

1年生での活動

第1学年を対象に、障がいのある方や高齢者への理解を深めるための講座を実施しました。手話講座、認知症理解講座、点字体験、ボッチャ体験、卓球バレー体験を行い、それぞれが体験したことを新聞にまとめました。実際に困り感を抱える方の話をお聞きたり、障がいのある方や高齢者の方々とスポーツを楽しむことで、社会福祉に対する考えを深めることが出来ました。

また社会福祉についての講演会を実施しました。共生社会を目指して活動されている社会福祉法人つぐみ福祉会の方をお招きし、理念や取り組みについて教えていただきました。



春江小学校の福祉活動を紹介します！

【活動アピールポイント】

今年度も、4年生の総合的な学習の時間で、福祉について学んでいきました。児童の興味・関心を広げるための仕掛けを効果的に取り入れ、外部講師の方のお話を聞いたり、調べ活動を行ったりすることで、児童一人一人が「共に生きる」大切さを感じることができたと思います。この学習で学んだことを、これからの生活に活かして欲しいと思います。

令和4年度の実践

令和4年10月中旬 アイマスク体験

教室や廊下などで、2回に分けアイマスク体験を行った。1回目は、「筆箱の中から鉛筆を出してごらん。」「次は、赤鉛筆を出してみよう。」など、目で確認しなければ困る動作を体験した。子供たちは、「分からない。」と言いながら必死で探していた。2回目は、二人組になり、特別教室まで案内するという体験を行った。サポートする側、される側の気持ちを発表し合い、もっと障害に関することを調べたいという気持ちを広げていった。



いつもだったら、
すぐ自分の名前を
書けるのになあ。



肩を持ってあげると、
安心するかな。

令和4年10月26日 点字に関する学習

楽点の会の方を招き、点字について教えて頂いた。点字の読み方を習った後、後半には自分の名前入りの名刺を作る活動を行った。実際に点字を打つ体験を行い、「力の入れ方が難しい。」「手が疲れた。」など点字の難しさを実感し、障がいのある方を支えている人達にも思いを馳せていった。



わたしは、「点字ってすてきななあ」と
思いました。目の見えない人が読めて、
書けることを知って感動しました。お母
さんにこの話をすると、「ふくしに関係
のある仕事、むいているんじゃない。」
と言われました。わたしは、目の見えな
い人とかかわってみたいです。

令和4年11月26日 視覚障がい者の方との交流会（中止）

アイマスク体験や点字体験を通して、子供たちは「目が見えない生活」への関心を高めていった。そこで、障がいをもつ方から実際に話を聞く場を計画したが、諸事情により中止となってしまった。事前に子供たちが考えた質問には、「生き方」に関する内容も含まれてたため、後日インタビューをして子供たちに伝えるなど、当事者の気持ちを届ける工夫をすれば良かったと感じている。

【生き方についての質問】

- ・目が見えなくて困ること、大変なことはなんですか。（どんな時ですか。）
- ・目が見えなくてもうれしいこと、楽しいことは何ですか。（どんな時ですか。）
- ・どんな時が1番楽しいですか。
- ・どんな気持ちで、暮らしていますか。

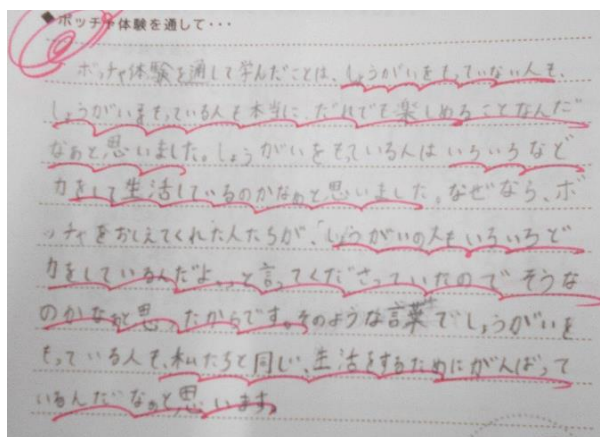
令和5年1月18日 ボッチャ体験

今までの学びから、「だれもが楽しめること」にも着目し、パラリンピック種目でもあり、大規模校の本校でも楽しめるボッチャを体験した。講師として、福井県ボッチャ協会の方に来て頂いた。

ボッチャ体験を競技を楽しむだけの時間で終わらせないためにも、活動をどうコーディネートするかが大切になってくる。そこで、次のように進めていった。

- ①講師の方の紹介
- ②ボッチャ体験（講師主導）
- ③ボッチャの体験を通して感じた良さの共有（担任主導）
- ④再度ボッチャ体験（講師主導）
- ⑤障がい者スポーツに関わっている方（講師）の気持ちを聞く。（担任→講師）

講師を招いての体験活動は、当事者の生の声を聞くことができる貴重な時間である。11月の反省を基に、障がい者スポーツに携わっている方の気持ちを聞く時間を最後に設けた。



令和5年2月～3月 伝えよう

今までの学習を「発信する」活動に入ってしまった。子供たちが興味をもった内容を5つ（パラスポーツ、ボッチャ、ユニバーサルデザイン、手話、点字）に分け、グループごとにまとめ活動を行った。伝える相手は、3年生である。分かりやすく伝えるだけでなく、福祉学習から学んだことを意識させながら準備を進めている。

春江西小学校の福祉活動を紹介します！

【活動アピールポイント】

「やさしい心を広げよう」をテーマに、児童が福祉を身近に感じ、福祉について考えられるように、様々な体験活動を行いました。社会にはいろいろな人たちが生活し、それを支えるために福祉があることを知り、自分たちにできることを考えたり、思いやりの心をもったりできるようになりました。

令和4年度の取り組み

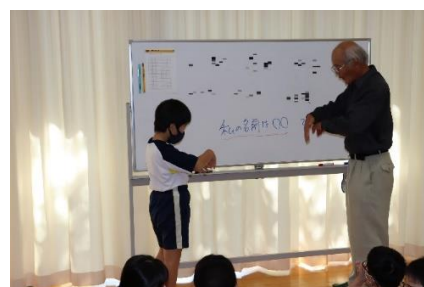
障がい者スポーツ体験(ボッチャ・フライングディスク)



ボッチャやフライングディスクを体験しました。障がいの有無に関わらず、道具やルールの工夫でみんな同じようにスポーツを楽しむことができるのだと学びました。

手話教室

手話講師と手話通訳の方2人をお招きし、耳の不自由な方の生活の仕方を教えていただきました。また、手話講師の方がふだん使っている目覚まし時計なども見せていただき、生活に役立っていることが分かりました。教室の最後には簡単な手話をいくつか教えていただきました。



車いす・アイマスク体験



車いす体験では、車いすに乗ったり、介助したりする体験を行いました。実際に車いすを利用されている方に、車いすの乗り降りの仕方や段差やスロープの通り方を教えていただきました。

アイマスク体験では、階段や段差では介助者の声かけによって安心できることや、普段は何でもないところでも、目の不自由な方にとっては危険な場所になり得ることが体感できました。

源さんの講話

目の不自由な方に盲導犬と一緒に来ていただき、ふだんの生活の様子や使用している道具などについて話を聞きました。講演者の特技であるサウンドテーブルテニスについてもお話いただきました。盲導犬と一緒に生活することや道具の工夫で、目が見えなくてもできることはいろいろあることを知りました。



大石小学校の福祉活動を紹介します！

【活動アピールポイント】

福祉教育は、毎年4年生を中心に総合的な学習の時間に取り組んでいます。福祉についての調べ学習、アイマスクや障がい者スポーツ、手話体験などの様々な体験活動や、視覚障がいについて学びました。

令和4年度の取組

手話体験



手話体験では、耳の聞こえない方がどうやってコミュニケーションをしているかについて知りました。自分たちの返事などが講師の先生には聞こえず、耳の聞こえない方とお話するときの手段について考えました。体験の最後には、あいさつやジャンケン、自分の名前など簡単な手話をいくつか教えていただきました。

障がい者スポーツ体験



全員が車椅子バスケットボールの競技用車いすに乗る体験をし、簡単なゲームを楽しみました。また、フライングディスクではアイマスクをして音で方向を判断するなど実際の競技を体験することができました。自分たちが普段行っているスポーツと障がい者スポーツの違いについて考えることで、みんなが一緒に楽しめることのよさを感じていました。

アイマスク体験・源さんのお話



アイマスク体験では、階段や段差では介助者の声かけによって安心できることや、普段は何でもないところでも、視覚障がい者にとっては危険な場所になりえることが体感できました。

また、盲導犬と生活している源さんのお話を聞きました。目が不自由な方の生活や盲導犬について詳しく教えていただきました。

春江東小学校の福祉活動を紹介します！

【活動アピールポイント】

本校では、小学校での福祉教育を、「すべての人を個人として尊重し、いろいろな人がいろいろな生き方ができるよう互いを認め合い、助け合い、共に生きていくこと」という考えのもとで進めてきました。

外部の方による福祉体験活動等を通して、子どもたちは、自分にできることを考え、行動することの大切さに気付くことができました。さらに、これまで以上に思いやりの心をもって友達と関わるような姿が多く見られるようになりました。

令和4年度の実践

福祉体験（車いす体験・アイマスク体験）



手話体験



体験を通して、介助される側の不安な気持ちや、介助する側の注意点を実感することができました。また、社会福祉協議会の方から、「障がいとは、社会にある不便さのことであり、それを取り除くことができれば全ての人が住みやすくなる」「周りの友達が困っていないかな、と思いやりの気持ちをもって見てほしい。その気持ちが、将来、周りの人を助けることにつながる」というお話を聞かせていただき、子どもたちの心に強く響いていました。

手話でのあいさつや自分の名前の表し方を学びました。耳が聞こえない人の大変さと、それでもできることが多くあることを知りました。

福祉に関する発表会



福祉体験や調べ学習などから学んだことを壁新聞にまとめ、3年生に発表しました。

春江中学校 の福祉活動を紹介します！

【活動アピールポイント】

☆第1学年の総合的な学習の時間で、しあわせ福井スポーツ協会が開催されている「障がい者スポーツ出前講座」を体験しました。障がい者スポーツとはどのようなものなのか、どのような意義があるのかを事前に学習し、実際にそのスポーツを体験したり、パラリンピック選手の講話を聞いたりする活動を通して、障がいに対する知識と理解を深めました。また、それらの体験から学び感じたことを個人でレポートにまとめ、クラスで互いの学びを共有し合いました。

令和4年度の実践

障がい者スポーツ体験 9/1(木)実施

①車イスレース

競技用車イスに乗ってカラーコーンをよけて進むレースを体験しました。生徒たちは初めて競技用車イスに乗り、最初はその操作に慣れず思うように進めない様子でしたが、全員ゴールまで進むことができました。生徒たちは、選手目線でこぎやすさや回転しやすさを求めつつも安全性も兼ね備えた競技用車イスの素晴らしさを体感しました。

また、車イスを操作しながらボールも扱うことには十分な体力と高い技術が必要であることが分かり、パラスポーツ選手が懸命に努力していることに気づくことができました。



②卓球バレー

卓球バレーはルールも分かりやすく、生徒たちはすぐに慣れ親しみ、笑顔で楽しんでいました。徐々にスピード感が増し、本気で対戦して喜んだり、悔しがったりする生徒たちの姿がたくさん見られました。座ってプレーすることにより、脚が不自由な方や高齢者、幼児など、誰にでも楽しむことができる卓球バレーの魅力・面白さを体感できたようです。



東京 2020 パラリンピック陸上競技出場 西島 美保子選手の講話 9/1(木)実施

西島選手が苦難と挫折を体験しながらも、諦めずに東京パラリンピック完走を目指して努力し続けた生き様を通して、生徒たちは①目標をもって努力すること、②最後まで諦めないこと、③チャンスが来たときは前向きに捉えること、④出会いを大切にして、周りに感謝することなどを学び、これからの生活でこの学びを活かしていきたいという思いをもちました。



東十郷小学校の福祉活動を紹介します！

【活動アピールポイント】

4年生の総合的な学習の時間を中心に、福祉活動に取り組みました。外部講師をお招きして、車いすバスケットやフライングディスクの体験をしたり、足の不自由な方の話を聞いたりして、障がいをもつ人の生活について学習しました。また、点字や手話も体験して、お世話になった6年生に、感謝の気持ちを込めて手話コーラスをプレゼントしました。これらの活動を通して、点字や手話を身近に感じ、誰に対しても思いやりの心をもって、助け合って生きていきたいという心を育てることができました。

令和4年度取り組み

障がい者スポーツ体験

（車いすバスケット・フライングディスク）

外部講師をお招きして、車いすバスケットとフライングディスクを体験しました。フライングディスクを通して、目が見えない場面では、「音」が重要なサインとなることに気づきました。また、車いすで動く難しさを体感しながらも、足が不自由でもスポーツを通して活躍する方と触れ合い、自分たちの周りに暮らす様々な人と関わり、共生することの大切さを学びました。



点字・手話体験

目の不自由な子ども的一天についてのビデオの視聴を通して、点字や手話に興味をもちました。そこから身近にある点字を見つけ、実際に点字を打ったり読んだりしました。また、インターネットであいさつや自分の名前を手話で表す方法を調べて、練習しました。さらに、6年生を送る会では、学習した手話を使って、心を込めた手話コーラスを練習し、発表しました。



大関小学校の福祉活動を紹介します！

【活動アピールポイント】

4年生を中心に、総合的な学習の時間に福祉活動を行いました。はじめに、様々な福祉について調べ学習を行い、クラスで紹介しました。そのなかで、児童の興味、関心が多かったことについて体験活動を行いました。

今年度は、車いす体験、アイマスク体験、点字体験、障がい者スポーツ体験（ゴールボール）を実施しました。体験を通して、障がいのある人の困難さを実感することができ、また、補助をする際に気をつけることなど、実際の生活の中で生かしていける、実践的な技能も知る機会になりました。

これらの活動を通して、困っている人に対して、自分から声をかけたり、手伝ったり、協力したりしたいという思いやりの心が育ちました。

令和4年度の取組み

【車いす体験】

「車いすに乗る」、「介助をする」という2つの体験を、交互に行いました。段差やスロープを使い、操作の仕方を学んで体験しました。やさしく声をかけたり、乗っている人の気持ちになってゆっくりと操作したりすることの大切さも学習しました。



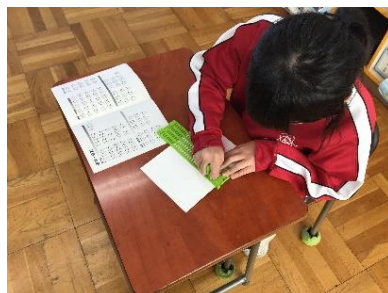
【アイマスク体験】

視覚障がいについて学習を深めるために、アイマスク体験をしました。体験を通して、目が見えないことの怖さについて知ることができました。また、サポートする方法や声かけの仕方について考えることができました。



【点字体験】

はじめに、点字のしくみについて学習しました。その後、点字一覧表を見ながら、自分の名前や五十音を打ってみました。



兵庫小学校の福祉活動を紹介します！

【活動アピールポイント】

福祉学習では、子どもたちの社会福祉への関心を高め、福祉を他人の問題として捉えるのではなく、自分なら何ができるかを考え、行動をしていくために何が必要なのかを学ぶことを目的としました。福祉学習を通して、私たちの周りには様々な方がいることへの理解を深め、みんなで支え合い、他人を思いやる心が芽生えてきたと思います。

令和4年度の取り組み

兵庫地区老人会の方々と交流

地区の老人会の方々に来ていただき、学校案内やグループごとの質問タイムなどを通して交流をしました。お年寄りの方から、生活の中で困っていることや、未来を担う子どもたちへの思いを聞き、自分たちに何ができるかについて考えを深めました。



身体障がいをもつ方のお話

自立生活センターコム・サポートプロジェクトの方々に来ていただき、身体障がいをもつ方から話を聞きました。自分たちとは違う日常生活の過ごし方や、ヘルパーさんの仕事などについて知ることができました。また、質問をして障がいをもつ方の気持ちを知ること、関わり方について考えることができました。

障がい者スポーツ体験

しあわせ福井スポーツ協会の方々に来ていただき、障がい者スポーツの一つであるフライングディスクの体験を行いました。実際にアイマスクを着けたり車いすに乗って投げたりするなどして、障がいをもつ選手の難しさを体感しました。また、フライングディスクは、障がいの種類に関わらず楽しむことができるスポーツだということを学びました。



認知症サポーター養成講座

坂井きらめきの方々に来ていただき、認知症とはどのようなものなのか、また、認知症の方にはどのように接したらよいかということを中心に学習しました。認知症について正しく理解し、自分たちにどんな支援ができるのかについて一人一人が考える大切な時間となりました。

木部小学校の福祉活動を紹介します！

【活動アピールポイント】

4年生で、総合的な学習の時間に福祉活動を行いました。車いす体験、障がい者スポーツ体験、インスタントシニア体験を行いました。これらの活動を通して、障がいをもつ方やお年寄りの生活や大変さを知り、理解を深めることができました。また、そういった方々への気持ちに寄り添うことの大切さを学びました。自分たちにできることを考えたり、思いやりの心をもったりできるようになりました。

令和4年度の取組

車いす体験

車いすに乗ったり、介助したりする体験を行いました。車いすの乗り降りの仕方や段差、スロープの通り方などを社会福祉協議会の方に教えていただきました。車いすだと普段できることも思うようにできなったり、不安を感じたりすることを学びました。また、乗っている子のことを気遣いながら介助する姿が見られました。



インスタントシニア体験

社会福祉協議会の方に来ていただき、器具をつけて、お年寄りの生活を体験しました。お年寄りの生活を体験し、「おじいちゃんやおばあちゃんにもっと親切にしたい。」という思いが強くなりました。体験では、お互いに声をかけ合ったり、友だちを気遣ったりする姿が見られました。



障がい者スポーツ体験

ボッチャを自立生活センターCom-Support projectの方に教えていただきました。車いすに座ってボッチャを行うことで、障がいがあっても楽しめることや大変さを感じながら、ゲームを楽しむことができました。また、車いすでの日常生活の過ごし方についての話を聞くことで、自分では気付けなかった日常生活の工夫や困難さを学ぶことができました。



坂井中学校の福祉活動を紹介します！

【活動アピールポイント】

自立支援センターや社会福祉法人の方に来ていただいて、障がい者スポーツ（モルック、卓球バレー、スラローム）の体験と手話体験、点字体験を行いました。それらの体験を通して、老若男女・障がいの有無に関わらずできるスポーツがあることや、障がいのある人とのコミュニケーションのとり方を学びました。また、普段の生活の中で自分たちにもできることはないかを考える機会にすることができました。

令和 4 年度の取組み

障がい者スポーツ体験

卓球バレー、モルック、スラロームの3つの障がい者スポーツを体験しました。どの競技も障がいの有無にかかわらず、どんな人でも行うことができるように、ルールに工夫がされていることに気づくことができました。やってみるとなかなか難しく、生徒達は夢中になって楽しみながら体験していました。



手話体験

手話で会話をする人たちが必要な支援についてのお話を伺い、実際に手話を使ってみる体験を行いました。手話を実際に使うことで、手話のもつ魅力に気づくことができ、楽しそうに手話で表現する姿が見られました。



点字体験

講師の先生から、身の回りでの点字の使われ方のお話を伺い、実際に自分たちでも点字を打つ体験をしました。点字を使っている人たちのことについての理解を深め、自分たちにできることを考えることができました。





令和4年度坂井市小中学校福祉共育活動報告書

発行日：令和5年3月

発行：坂井市社会福祉協議会

〒919-0521

電話番号：0776-68-5070 FAX:0776-67-2807

ホームページアドレス

<http://www.sakaicityshakyo.jp/>